

2010年11月16日

アステラス製薬 グローバルな社会貢献活動 ～Changing Tomorrow Day～ 実施のお知らせ -その⑤ 欧州編-

アステラス製薬株式会社（社長：野木森 雅郁、以下「アステラス製薬」）は世界中のアステラスグループの社員が社会貢献活動に参画する取り組み「Changing Tomorrow Day*」（以下、「CT Day」）の一貫として、欧州の各拠点に在籍する社員が下記のとおり社会貢献活動を実施しましたので、その取り組み内容をご紹介します。

今回実施した主な活動(全て2010年10月に実施)は以下になります。

- アステラスファーマヨーロッパLtd.(イギリス)：アステラス ファーマ ヨーロッパ Ltd.の社員の内、37人が、ロンドン郊外の Surrey にある Meath 小学校を訪れ、教室や庭の清掃、整備を行いました。また、Stains にある Buckland 小学校では、リサイクルショップの飾り付けや子供達を対象にした料理教室なども開催しました。
- アステラス ファーマ GmbH (ドイツ)：ドイツのベルリン近郊の恵まれない子供達を支援するプロジェクトである「Die Arche プロジェクト (箱舟プロジェクト)」に参画し、学校や公園などの砂場造り、ハーブ園の建設、バスケットボールのゴールの修理などを行いました。砂場造りのために15トンもの砂を運びました。

上記のほか、アステラス製薬の、オーストリア、ポルトガルなどの各販社で社会貢献活動を実施しました。またこれ以外の地域でも今後社会貢献活動を行って参ります。

本リリースはCT Dayの活動をご紹介します6回シリーズのリリースの第5弾であり、今まで日本、米州、欧州、アジアの各地域の社会貢献活動についてご紹介して参りました。次回最終号の第6弾では今回の取り組みの成果をご紹介します予定です。

*Changing Tomorrow Day：「Changing Tomorrow Day」は、アステラス製薬発足5周年を記念して行うグローバルな社会貢献活動であり、2010年9月1日から2010年10月31日の期間で日本、米州、欧州、アジアのそれぞれの地域の子会社、事業場で様々な活動を一斉に行うものです。

「Changing tomorrow」はアステラス製薬のコミュニケーションスローガンである「明日は変えられる。」の英語版であり、今回の活動の総称をCT Dayと名づけました。

以上



アステラス ファーマ ヨーロッパ Ltd.の吉田社長 Meath 小学校にて



アステラス ファーマ ヨーロッパ Ltd.の社員と子供達 Buckland 小学校にて



アステラスファーマヨーロッパ Ltd.の最高執行責任者、ケン・ジョーンズ と子供たち
Buckland 小学校における料理教室



アステラス ファーマ GmbH 社員達による砂場造り (15 トンの砂を運びました)